

【花粉症の人はこんな食物に注意しましょう】
 OAS(口腔アレルギー症候群)は、IgE抗体を介した口腔粘膜症状に局所する即時型アレルギー症状のことで、患者さんの多くが花粉症と合併することから、PFS(花粉関連食物アレルギー症候群、Pollen-associated food allergy syndrome)とも呼ばれています。花粉症の原因感作アレルゲンと共通抗原性をもつ食物のアレルゲンが原因となり、多くの場合では生野菜や果物が原因となります。よく知られているPFSは原因花粉がカバノキ科(ハンノキ、シラカンバなど)で、これらの花粉症と合併する食物がバラ科の果物(リンゴ、モモなど)や大豆(豆乳など)です。その他にはイネ科(カモガヤ、オオアワガエリ)の花粉症に合併するメロン、スイカ、キウイやキク科(ブタクサ、ヨモギ)の花粉症ではセロリ、ニンジン、メロン、スイカなど、花粉症の原因花粉によってPFSを発症する原因食物は異なります。1)

引用文献

1) アレルギー・免疫17(6), 1031-1038, 2010

検査項目 : イムノキャップ特異的 IgE
 検体量 : 0.3 mL
 容器番号 : 1
 保存方法 : 冷蔵
 検査実施料 : 各 110 点
 検査判断料 : 144 点 (免疫学的検査)
 所要日数 : 3 ~ 5 日

2] ヘリコバクター・ピロリ検査について

・感染診断と除菌判定
 現在、ヘリコバクター・ピロリ検査の感染診断と除菌判定において、単独でGoldとなる検査法がない現状の中で、6つの検査方法を単独もしくは特定の組み合わせで行えるように定められております。また、再検査時の検査方法、検査時期なども含め留意点が多いのも、この検査の特徴となっています。より感度、特異度が高い検査法が望まれている中で、便中ヘリコバクター・ピロリ抗原検査は患者(被検者)への侵襲性を伴わない検査として、日本ヘリコバクター学会のガイドラインで尿素呼吸試験(UBT)とともに推奨されています。便中ヘリコバクター・ピロリ抗原検査は、非侵襲的診断法であり検体採取についても糞便を用いるため、侵襲的診断法(内視鏡を必要とする検査)で必要となる絶食も不要です。また、検体採取のため病院等へ来院し時間的に拘束されることもありません。保険診療外の健診オプションで行う場合においても、侵襲的検査や尿素呼吸試験と比べ、コスト面においてもリーズナブルな検査です。

ヘリコバクター・ピロリの感染診断と除菌判定は糞便検体で可能です
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/pirori2016-01.pdf>

・ヘリコバクター・ピロリ学会より
 「血清抗H.pylori IgG抗体検査」について
 2015年6月にヘリコバクター・ピロリ学会より「血清抗H.pylori IgG抗体検査」の陽性・陰性判定、感染診断の運用に際して注意喚起文書が提示されました。1)
 除菌前・除菌後の感染診断(除菌判定)に必要な検査の特性を考慮し、状況により検査を組み合わせた診断が求められます。2)

弊社HP : KML INFORMATION 27-24
<https://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0928-01.pdf>

- 1) 日本ヘリコバクター学会HP
<http://www.jshr.jp/member/index.html#news150630>
- 2) 日本ヘリコバクター学会HP
<http://www.jshr.jp/journal/index.html>

つきましては、弊社で受託可能な検査項目をご案内させていただきます。

検査項目 : 便中ヘリコバクター・ピロリ抗原検査
検査材料 : 便
容器番号 : 53
保存方法 : 冷蔵保存
検査実施料 : 146点
検査判断料 : 144点 (免疫学的検査)
検査法 : EIA
所要日数 : 2～4日
基準値 : (－)
※検体採取方法は、容器に同封の採取書を参照して下さい。

検査項目 : ヘリコバクター・ピロリ抗体 (IgG)
検査材料 : 血清 0.5mL
容器番号 : 1
保存方法 : 冷蔵保存
検査実施料 : 80点
検査判断料 : 144点 (免疫学的検査)
検査法 : ELISA
所要日数 : 3～5日
基準値 : (－) 濃度値10U/mL未満

検査項目 : ヘリコバクター・ピロリ尿素呼気試験
検査材料 : 呼気
容器番号 : 22
保存方法 : 室温
検査実施料 : 70点
検査判断料 : 150点 (微生物学的検査)
検査法 : 赤外分光分析法 (IR)
所要日数 : 2日
基準値 : 2.5%未満

検査項目 : ヘリコバクター・ピロリ培養同定
検査材料 : 胃生検
容器番号 : 31
保存方法 : 冷蔵保存
検査実施料 : 160点
検査判断料 : 150点 (微生物学的検査)
検査法 : 培養検査
所要日数 : 4～7日
基準値 : (－)

3 KMLインフォメーション 11月～1月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2015年 11月27日 検体検査実施料算定留意事項改正のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-1127-01.pdf>

2015年 12月10日 27年 年内報告可能最終受付日一覧表
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-1210-01.pdf>

2016年 1月13日 新規受託項目のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0113-02.pdf>

2016年 1月13日 「血漿レニン活性 (PRA)」基準値表記追加のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2016-0113-01.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

= = = = = □ ■